

コトバカっ!



コトバカ
言葉家……言葉を操る専門家。言葉にバカに詳しい人。言葉にバカみたいにこだわる人。

コトのほかバカ。コトによるとバカ。コピーライターの俗称。

上から読んでも相川藍、下から読んでも相川藍。コトバカの相川藍が言葉についてコトバカルっ!

コレスキ?

もらってうれしいプレゼントってなにいうものだろう、と考えてみた。趣味に合うもの? 心のこもったもの? 希少価値のあるもの?

公募や懸賞の場合、賞金もうれしいけど、モノは特別な思い出になる。駆け出しのコピーライターだったころ、コピーの公募でクルマをもらったのは特別な思い出だ。以来クルマが好きになり、そのことが多くの出会いや楽しみをもたらしてくれた。プレゼントは人生を変える。

小さなプレゼントだって悔れない。今年初め、お試して行ったパーソナルトレーニングのスタジオで、帰り際、担当トレーナーに「チョココレト好きですか?」と聞かれた。反射的に深くうなずくと「どうぞ食べてください」と、ひとつ、くれたのだ。体育会系の場所で、小さなチョコを宝物みたいに手渡されるなんて。その丁寧さに新鮮なものを感じた。

帰り道に食べながら「これは愛だ」とひらめいた。私への愛ではない、チョコへの愛だ。このスタッフは、きっとチョコが大好きなのだ。丁寧な態度だが、気持的には「ぜったい気に入るから。一緒に楽しもうぜ」ってノリ。ものすごく好きそうな人にしか渡さないのかも……と、なぜそこまで想像したかという、めっちゃ美味しかったから! 改めて個装紙を見ると、簡単には手に入らないブランドチョコだった。

だいたい、人に何かプレゼントするときに「これ好き?」と聞く人は、本人がそれを愛している場合が多い。「俺のこと好き?」とか聞いてくる男が、自分大好きナルシストであることは定説だし。

チョコにつられて通い始めたスタジオのトレーナーは、オリンピック選手も担当していると知った。海外遠征に帯同する際、チョコを仕入れるらしい。思い切りチョコを食べている私も、トレーニングの成果で抜群のポジションになりつつある(笑)。オリンピックも見えてきた(笑)。

たったひとつのチョコがもたらす新しい出会い。そして限りなく広がる妄想の世界! プレゼントは人生を変える。

あいかわ あい ことばか
相川 藍 (言葉家)

丸の内文学賞(大賞)、朝日広告賞(最高賞)、インターネット書評コンテスト(最優秀賞)受賞。早稲田大学第一文学部卒。コピーライター。